

福島県地域活動団体 情報シート (2017年度)

設立年	1999年	5月	設立後	満18年	法人登記	2001年	7月
法人格/ふりがな	法人格名		てらこやほうじょうしゃ				
団体名	特定非営利活動法人		寺子屋方丈舎				
代表者氏名	江川 和弥			役職	理事長		
活動拠点 所在地	郵便番号	965-0871					
	住所	福島県会津若松市栄町2-14 レオクラブガーデンスクエア5階					
団体TEL	0242-93-7950			FAX	0242-85-6863		
URL	http://www.terakoyahoujyousha.com			メールアドレス	info@terakoyahoujyousha.com		
活動エリア	会津						
活動分野(テーマ)	社会教育の推進	学術・文化・ 芸術・スポーツ	環境の保全	国際協力	子どもの健全育成	中間支援	
団体概要 (定款・会則による 団体のミッション 等)	この法人は、青少年に対し、青少年が自己認知し、自分らしく生きるための支援を行い、もって広がりのある社会の創造に寄与することを目的とする。						
直近3年の主な 事業 (実績)	<input type="checkbox"/> フリースクール・通信制高校の管理運営 <input type="checkbox"/> 自遊学キャンプの管理運営実施 <input type="checkbox"/> 森のようちえんの実施 <input type="checkbox"/> 冒険ひろばの実施 <input type="checkbox"/> 子ども食堂の管理運営						
今年度主な事業 (取組み)	<input type="checkbox"/> 上記事業の継続						
役員・会員	役員	理事/監事	5/2人	正会員	17	個人17/団体0	
前年度収入(決算)	19,308 千円						
地域へのメッ セージ	不登校の子どもは福島県内にも1,500人あまりいます。その中で、フリースクールに通っている子どもは100人あまり。多くの子どもは家庭にいて、学校に行けない自分を責めています。このような無用な軋轢(あつれき)で子どもたちが引きこもるような状況は無自覚に何年も行われるのではなく、子どもが教育を選択できるような社会をつくり、どんどん学校に行かない個性を伸ばして行きたいと考えています。						

◆いろいろお伺いしました

a. 震災から7年を過ぎ、今後への展望

福島から、子どもの学校外の学びを変えてゆきたいと思っております。公教育だけで、子どもは育たないという実感は震災によって明らか。

b. 理事会や事務局機能、会計・監査機能の整備

理事会をオンラインと実際の例会とハイブリッドで実施。理事に経営の現場に赴いてもらっています。そして意見交換。
 それぞれ専門分野を持つ人に理事に入ってもらっています。
 監査は会計士、司法書士

c. 資金集め(会費・寄付)や自主事業収入について

どんどん広がっている感じです。定期的なファンドレイズの構造を作るのがこれからですね。

d. 法人格の選択及び認定NPO法人・公益法人取得について

NPOにしたのは、共感性と参加のしやすさです。この選択は当団体にとって良い感じですよ。

e. 活動への福島の復興の影響

県内子ども支援団体のネットワークを縦横無尽に作って当団体がハブになっております。そこをさらに繋いで、政策づくりや公教育との連携に影響を及ぼしたいですね。